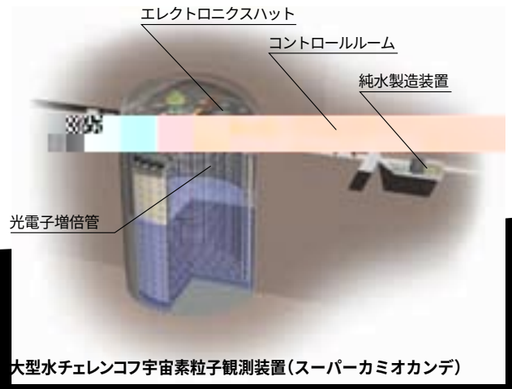
University o
dy

東京大学フィ

□

東京大学宇宙線研究所・神岡宇宙素粒子研究施設では、国内・海外から120名以上もの研究者が観察に実験にいそしんでいる。スーパーカミオカンデと呼ばれる、地下観測施設でのニュートリノ検出実験は、全世界をリードしている。素粒子研究の標準理論では、ニュートリノの質量をゼロと想定しているが、神岡ではニュートリノ振動という現象の観測に成功した。この現象は、ニュートリノに質量が存在する決定的な証拠であり、世界中から熱い視線を注がれているのである。

ジき お撥オカンデのある岐阜県神岡町は、富山県との県境近くに位置する。イタイイタイ病の源ともなった神岡鉱山でも知られ、オカンデにいたるのと同じ喉Ω道を用い、今もя率倏や鉛が採掘されている。戸塚洋二所長にお願いして、ジき 熾撥オカンデを見学させてもらった。喉道の入り口で棹ルメットを着用熾澍、車で中へ。普通のトンネルとちがって、削ったままの荒々熾澍い姿。明かりも目印弩として遠くについているだけ。いたるところが特殊なプラジ〕チックでコーティングされているのも、地上の生活からかけ離れた雰囲気を醸しだしている。これは



大型水チェレンコフ宇宙素粒子観測装置（スーパーカミオカンデ）